

平成30年度福島県立図書館協議会次第

日 時 平成30年11月29日 (木)
午前10時00分から
場 所 県立図書館 第1研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 議事録署名人の選出

(2) 報告事項

① 平成30年度図書館利用実績について (4月～10月)

資料1

② 朝河貫一没後70年記念展開催報告について

資料2

③ 只見線応援企画実施状況について

資料3

(3) 協議事項

「福島県立図書館アクションプラン (第3次)」の取組について

資料4

(4) その他

4 閉 会

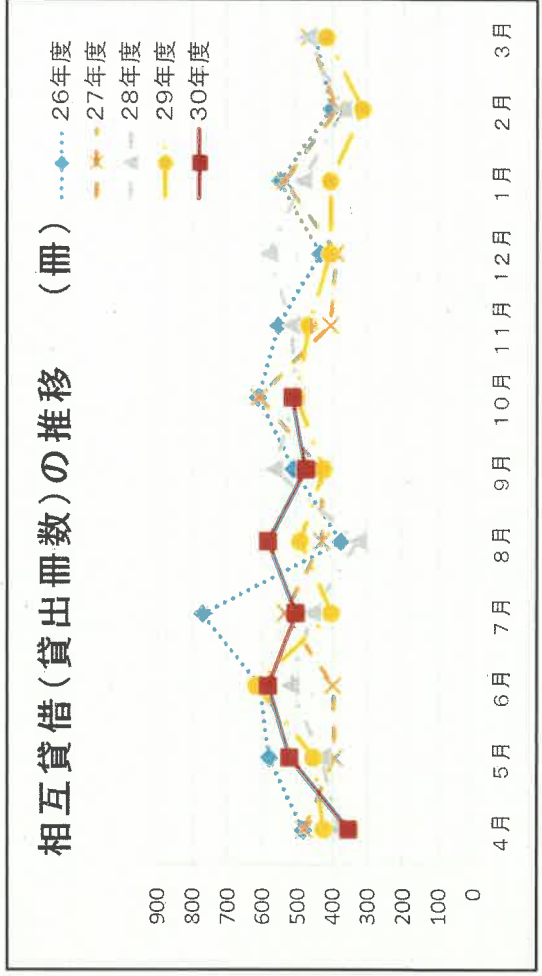
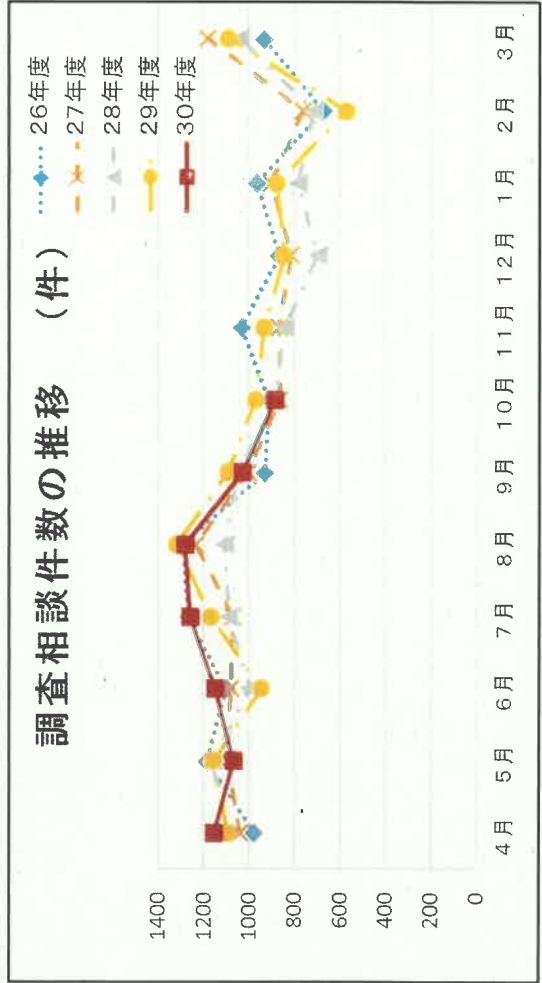
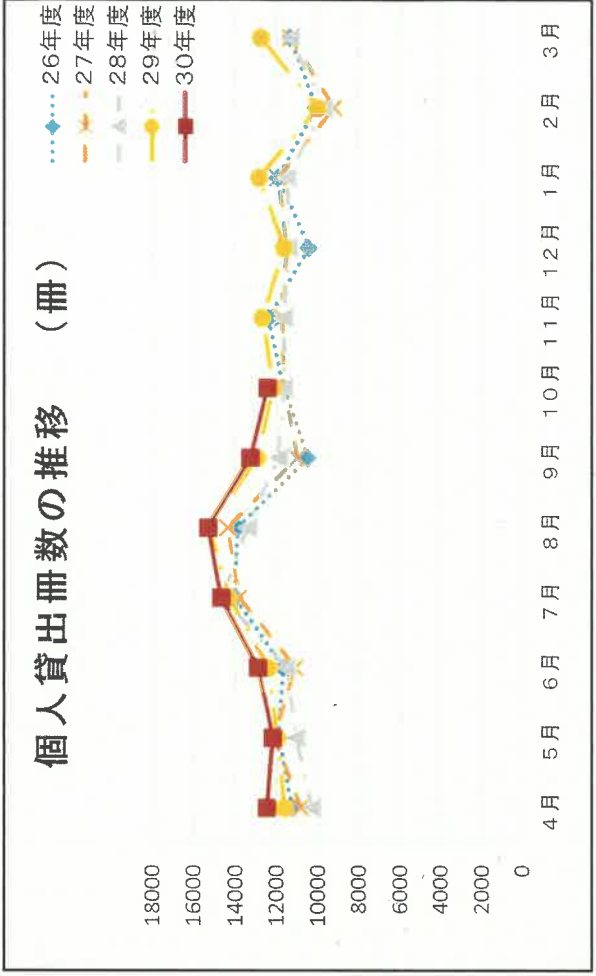
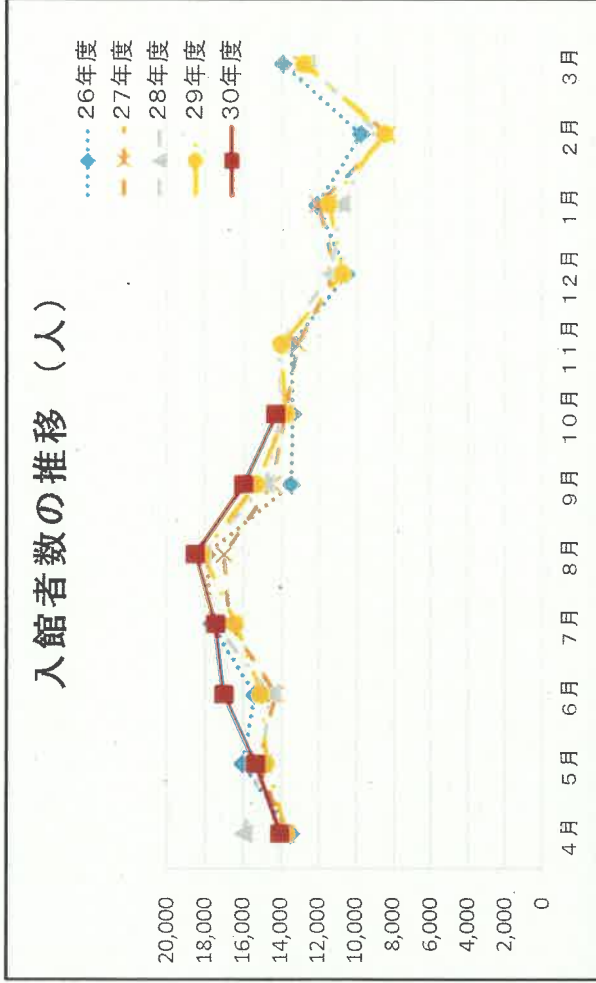
資料1

図書館利用実績

福島県立図書館

平成26～30年度月別(4～10月)利用状況

平成30年10月現在



平成30年度 図書館利用実績【4月～10月】

1 各年度4月～10月計及び対平成26年度同期比(平成26年度実績=100)

(1) 入館者数及び開館日数

(単位:人・%・日)

区分	入館者数		平成26年度同期比	開館日数		一日当たり入館者数	
	年度合計	4～10月計		年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成30年度		112,643	104.9		176		640
平成29年度	164,502	107,147	99.8	288	177	571	605
平成28年度	167,650	109,994	102.4	285	176	588	625
平成27年度	162,594	105,162	97.9	288	178	565	591
平成26年度	167,097	107,401	100.0	283	173	590	621
平成22年度	232,133	164,262		269		863	923

※ 平成22年度は、東日本大震災による被災のため3月12日から3月31日まで休館した。

こどものへや入館者数(再掲)

(単位:人・%)

区分	入館者数		平成26年度同期比	一日当たり入館者数	
	年度合計	4～10月計		年度合計	4～10月計
平成30年度		35,694	106.9		203
平成29年度	54,748	35,181	105.3	191	199
平成28年度	56,484	37,323	111.8	197	212
平成27年度	55,276	35,079	105.0	192	197
平成26年度	51,683	33,396	100.0	183	193
平成22年度	78,204	54,429		291	306

(2) 登録者数

(単位:人・%)

区分	新規			更新			合計		
	年度合計	4～10月計	平成26年度同期比	年度合計	4～10月計	平成26年度同期比	年度合計	4～10月計	平成26年度同期比
平成30年度		2,158	91.7		1,014	129.2		3,172	101.1
平成29年度	3,169	2,117	90.0	1,408	892	113.6	4,577	3,009	95.9
平成28年度	3,130	2,144	91.1	1,459	926	118.0	4,589	3,070	97.8
平成27年度	3,145	2,045	86.9	1,422	866	110.3	4,567	2,911	92.8
平成26年度	3,577	2,353	100.0	1,260	785	100.0	4,837	3,138	100.0
平成22年度	4,171	2,992		1,831	1,314		6,002	4,306	

(3) 貸出利用者数

(単位:人・%)

区分	貸出利用者数		
	年度合計	4～10月計	平成26年度同期比
平成30年度		25,307	105.2
平成29年度	39,979	24,429	101.5
平成28年度	38,237	23,333	97.0
平成27年度	38,426	23,521	97.7
平成26年度	39,591	24,066	100.0
平成22年度	50,457	33,783	

(4) 貸出冊数

区分	平成22年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	平成26年度 同期比	年度合計	4～10月計	平成26年度 同期比	年度合計	4～10月計	平成26年度 同期比	年度合計	4～10月計	平成26年度 同期比
総記	2,331	1,586	1,901	1,126	100.0	1,745	1,031	91.6	1,993	1,073	95.3	2,026	1,177	104.5
哲学宗教	5,976	3,913	4,639	2,656	100.0	4,210	2,492	93.8	4,046	2,448	92.2	4,451	2,543	95.7
歴史地理	9,470	6,093	7,636	4,497	100.0	7,002	4,311	95.9	6,387	3,633	80.8	7,399	4,338	96.5
社会科学	15,872	10,372	12,469	7,096	100.0	11,141	6,428	90.6	10,475	6,235	87.9	11,626	6,795	95.8
自然科学	9,791	6,655	7,748	4,611	100.0	7,152	4,409	95.6	6,832	4,148	90.0	7,151	4,356	94.5
工学工業	9,152	6,128	7,186	4,369	100.0	6,635	4,031	92.3	6,123	3,456	79.1	6,571	3,819	87.4
産業	5,569	3,811	3,633	2,058	100.0	3,411	2,146	104.3	3,432	1,994	96.9	3,584	2,220	107.9
芸術	10,150	6,901	8,951	5,464	100.0	8,165	4,968	90.9	7,983	4,720	86.4	7,937	4,658	85.2
語学	1,925	1,205	1,366	798	100.0	1,299	792	99.2	1,106	601	75.3	1,206	637	79.8
文学	25,305	16,993	21,094	12,499	100.0	19,687	11,603	92.8	19,464	11,393	91.2	21,337	12,566	100.5
地域資料	7,601	5,112	7,288	4,322	100.0	7,402	4,382	101.4	7,884	4,695	108.6	8,054	4,885	113.0
新聞雑誌	10,137	6,401	8,860	5,151	100.0	8,609	5,178	100.5	7,715	4,544	88.2	7,316	4,368	84.8
小計	113,279	75,170	92,771	54,647	100.0	86,458	51,771	94.7	83,440	48,940	89.6	88,658	52,362	95.8
児童	74,384	49,749	48,420	30,323	100.0	54,140	33,134	109.3	56,597	35,494	117.1	62,041	38,363	126.5
合計	187,663	124,919	141,191	84,970	100.0	140,598	84,905	99.9	140,037	84,434	99.4	150,699	90,725	106.8

(単位:冊・%)

(5) 調査相談件数

(単位:件・%)

区分	一般		児童		合計	
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成30年度		5,515		2,315		7,830
		89.8		151.9		102.2
平成29年度	8,916	5,751	3,158	2,004	12,074	7,755
		93.6		131.5		101.2
平成28年度	8,605	5,447	2,868	1,952	11,473	7,399
		88.7		128.1		96.5
平成27年度	9,016	5,610	2,912	1,785	11,928	7,395
		91.4		117.1		96.5
平成26年度	9,838	6,141	2,295	1,524	12,133	7,665
		100.0		100.0		100.0
平成22年度	10,893	7,284	1,698	1,205	12,591	8,489

(6) インターネット端末の利用状況

(単位:人・%)

区分	一般		児童		合計	
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成30年度		3,909		18		3,927
		95.7		24.7		94.4
平成29年度	6,023	3,867	44	27	6,067	3,894
		94.6		37.0		93.6
平成28年度	6,539	4,136	64	45	6,603	4,181
		101.2		61.6		100.5
平成27年度	6,658	4,244	52	42	6,710	4,286
		103.9		57.5		103.1
平成26年度	6,707	4,086	83	73	6,790	4,159
		100.0		100.0		100.0
平成22年度	8,824	6,283	325	233	9,149	6,516

(8) 資料宅配サービス利用状況 (単位:件・%・冊)

区分	件数		冊数	
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成30年度		10		50
平成29年度	23	15	147	91
平成28年度	31	19	227	146
平成27年度	32	20	219	130
平成26年度	26	15	195	110

※ 資料宅配サービスは、平成22年6月からサービス対象地域を相双・雲津地域と限定してスタートし、その後、平成23年7月からサービス対象地域を福島県内とした。

2 年度計

(1) 新聞記事閲覧システム利用状況 (単位:件・%)

区分	件数	平成26年度同相比
平成29年度	396	130.3
平成28年度	350	115.1
平成27年度	298	98.0
平成26年度	304	100.0

※平成24年度6月より供用開始した。

(2) 遠隔地返却冊数 (単位:冊・%)

区分	冊数	平成26年度同相比
平成29年度	6,865	110.6
平成28年度	6,551	105.6
平成27年度	5,924	95.5
平成26年度	6,205	100.0
平成22年度	6,794	

※利用者が来館し、直接貸出しを受けた資料を県内公立図書館に返却した冊数。

(3) 受取館指定サービス利用状況 (単位:件・冊)

区分	件数	冊数
平成29年度	223	736

※平成29年3月より試行実施し、7月より正式にサービスを開始した。
平成29年度は7月から3月までの実績。

(4) ホームページアクセス件数

(単位:件・%)

区分	実績値				平成26年度同期比					
	トップページ	蔵書検索	横断検索	デジタルライブラリー	こどものへや	トップページ	蔵書検索	横断検索	デジタルライブラリー	こどものへや
平成29年度	270,257	529,594	374,626	3,880	3,383	199.9	122.3	158.0	76.5	83.5
平成28年度	194,853	510,541	396,175	4,677	3,480	144.1	117.9	167.1	92.3	85.9
平成27年度	148,481	439,340	399,524	4,684	3,489	109.8	101.5	168.5	92.4	86.1
平成26年度	135,196	433,057	237,057	5,069	4,052	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成22年度	171,916	174,859	113,701	5,055	3,885					

(5) 移動図書館(あづま号)貸出冊数(単位:冊・%)

区分	冊数	平成26年度同期比
平成29年度	23,506	91.9
平成28年度	23,026	90.0
平成27年度	26,330	102.9
平成26年度	25,589	100.0
平成22年度	31,312	

(6) 市町村・学校への協力支援貸出冊数(単位:冊・%)

区分	冊数	平成26年度同期比
平成29年度	11,232	103.3
平成28年度	6,563	60.3
平成27年度	9,140	84.0
平成26年度	10,876	100.0
平成22年度	14,908	

朝河貫一没後70年記念事業実施報告

今年度「ふくしまの未来をひらく図書館事業」として没後70年を迎えた本県出身の国際的歴史学者朝河貫一博士の偉大な功績を周知するため、下記の事業を実施した。

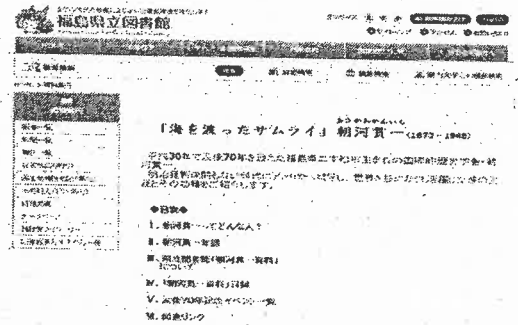
1. 当館ホームページ「郷土の偉人・朝河貫一没後70年」の開設

開設日：平成30年4月27日（金）～

内容：①人物紹介

②年譜

③特殊コレクション「朝河貫一資料」の紹介
及び目録の公開

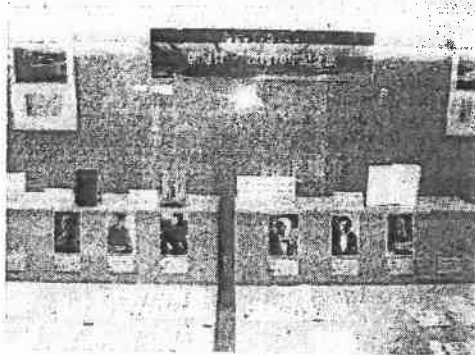


2. 企画展「海を渡ったサムライ～朝河貫一没後70年記念展」の開催

(1) 概要

当館所蔵の「朝河貫一資料」の書簡や著作等を中心に、53点を展示

朝河博士の生涯を辿り、大隈重信、伊藤博文、野口英世ら著名な人々との交流を中心に書簡や人物紹介を展示したほか、「昭和天皇宛大統領親書草案」や「朝河をいろうどった女性たち」のテーマで展示を行った。企画全体に関して、甚野尚志氏（早稲田大学文学学術院教授）の監修をいただいた。



(2) 開催期間

平成30年6月8日（金）～ 9月5日（水） 77日間

（前期：6月8日（金）～7月16日（月） 後期：7月18日（水）～9月5日（水））

(3) 来館状況

入館者数 55,143名（1日平均716名）

(4) オープニングセレモニーの実施

開催日・会場：平成30年6月8日（金）11:00～
エントランスホール

出席者：朝河貫一博士顕彰協会 代表理事 矢吹晋氏
（横浜市立大学名誉教授）

朝河貫一博士顕彰協会 事務局長 糠澤修一氏
（福島テレビ代表取締役会長）

早稲田大学文学学術院教授 甚野尚志氏



*セレモニー後、甚野尚志氏による展示資料の説明

(5) 図書館員によるギャラリートーク

担当職員による展示資料解説を実施

開催日：6月9日(土) 7月22日(日) 8月5日(日)

参加者：3回合計 66名

3 記念講演「ふくしまから世界へ～国際人・朝河貫一の歩み～」

(1) 概要

早稲田大学文学学術院教授 甚野尚志氏を講師に招き、当館講堂にて記念講演を開催。朝河の生涯や比較法制史の研究に加え、「昭和天皇宛大統領親書草案」に代表される日米平和のための尽力などの偉大な功績について、豊富な写真や図を用いながらご講演いただいた。



当初の見込みを大幅に超える参加があり、関心の高さが感じられた。

(2) 開催日時 平成30年6月9日(土) 14:25 ～ 15:15

(3) 参加者数 168名



(4) 参加者のアンケートから

- ・朝河の名前は知っていたが、具体的な功績とその内容については分からず、今回の講座で理解できた。
- ・朝河の余り知られていない部分が数多く登場し、博士の人柄がよくわかった。
- ・歴史の真実の一部を理解できた。

4 『朝河貫一資料目録』改訂版の発行(予定)

『朝河貫一資料目録』(福島県立図書館/編刊 1992)を改訂

甚野尚志氏の協力を仰ぎ、書簡内容の解説や書簡を交わした人物の説明等を加え大幅に改訂し、より充実した内容とする。

刊行日：平成31年1月(予定)

発行部数：200部(予定)

只見線応援企画について

只見線は、平成 23 年 7 月の新潟・福島豪雨により甚大な被害を受けました。現在も、会津川口ー只見間の 27.6km は不通となっていますが、平成 33 年度の全線開通を目指し、平成 30 年 6 月 15 日に復旧工事が開始されました。福島県立図書館でも、下記のとおり只見線応援企画事業を実施いたしました。

1. 写真パネル展「只見線秀景」

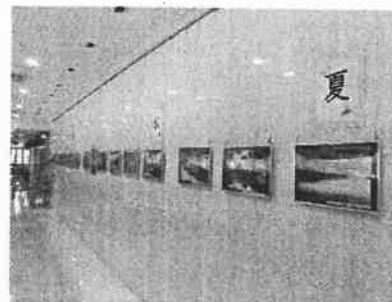
・期 間：平成 30 年 6 月 8 日（金）～7 月 4 日（水）

・場 所：エントランスホール

・作品数：15 点

*会津地方振興局所有のものを借用し実施。（平成 29 年 11 に同振興局主催で実施した、「郷土写真家・星賢孝と巡る、俺にしか撮れない只見線撮影ツアー」の作品。）

*第 2 回目を、平成 31 年 1 月 5 日（土）～2 月 11 日（月）の期間で実施予定。



2. 資料展示「会津の鉄道と奥会津の魅力を」

*写真パネル展に合わせて、当館所蔵資料による鉄道と奥会津の観光をテーマとした資料展示「会津の鉄道と奥会津の魅力を」を実施。



3. 只見線応援コーナー

*「只見線を応援しよう」パンフレットやグッズを配布し PR を図る。

*沿線自治体の観光パンフレットのほか、南会津地方振興局作成のリーフレット「知られざる南会津戊辰歴巡図」等を設置。

4. 鉄道風景画家松本忠絵画展「只見線情景」

・期 間：平成 30 年 8 月 3 日（金）～平成 31 年 4 月 3 日（水）

・場 所：エントランスホール

・作品数：各展示毎に只見線風景絵画（ジグレー版画）2 点ずつ。

[夏展示] 平成 30 年 8 月 3 日（金）～9 月 5 日（水）

[秋展示] 平成 30 年 9 月 7 日（金）～10 月 31 日（水）

[冬展示] 平成 30 年 11 月 2 日（金）～平成 31 年 2 月 11 日（月）

[春展示] 平成 31 年 2 月 23 日（土）～平成 31 年 4 月 3 日（水）※予定

*関連として、同コーナー付近に松本忠氏の著作を展示。

*平成 30 年 11 月 21 日（水）、福島県立図書館より感謝状を贈呈。



福島県立図書館アクションプラン（第3次） 平成30年度実施事業結果報告シート
(2018.10.31現在)

(1) 「県民のための図書館」であるために

ア 県民の知りたい情報ニーズに応えます

【県民のニーズに照らした多面的資料の収集と提供を行います】

1 県民のニーズに照らした多面的な資料の計画的な収集	
<p>(1) 偏りの無い蔵書構成と多面的な資料の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 「福島県立図書館資料基本要綱IV資料別収集方針」（以下「収集方針」という。）に基づき、資料収集調査委員会で、特定の分野に偏らないバランスの良い選書に努め、計画的に資料を購入している。 リクエスト制度により県民各世代のニーズに応じている。(65冊/10月末) <p>(2) 出版情報の迅速な入手</p> <ul style="list-style-type: none"> 出版社からの情報のほか、新聞・雑誌等の掲載情報を確認し選書に反映している。 	
2 市町村立図書館を支えるための資料収集	
<p>(1) 地域づくりや町おこし、6次化等地域活性化のための資料収集に努めている。</p> <p>(2) 基本図書・全集・参考図書など市町村のバックアップ資料を収集している。</p> <p>(3) 市町村からの購入リクエストに応じている。(11冊/10月末)</p>	
3 県民のくらしに役立つ資料の充実を図るための「県民のくらし応援文庫」の充実	
<p>(1) 福島民報社 (10万円・4月) 全テーマ</p> <p>(2) テレビユー福島 (10万円・5月) 育児活動支援</p> <p>(3) ふくしま未来研究会 (100万円・7月) 全テーマ</p> <p>(4) 大槻電設工業 (10万円・7月) 育児活動支援</p> <p>(5) ヤクルト販売 (5万円・8月) 育児活動支援</p> <p>(6) 福島民友新聞社 (10万円・10月) 健康長寿支援</p>	
指標 ①	<p>【年間貸出総冊数】 (基準値：平成28年度 176,296冊)</p> <p>*平成30年度 121,529冊 (10月末) (参考) 平成29年度 191,521冊 平成29年度 118,741冊 (10月末)</p>

【レファレンス機能の充実を図ります】

1 レファレンス資料の充実
(1) 収集方針に基づき資料収集調査委員会で計画的にレファレンス資料を購入している
2 レファレンス環境の整備
<p>(1) パスファインダーの新規作成と更新に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「空模様を読む」(新規)を発行した。(6月8日) 「地域の出版文化を支える 福島民報出版文化賞」(更新)を発行した。(7月26日) 「ボランティアとNPO」(更新)を発行した。(9月21日) <p>(2) 各種データベースの充実に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元新聞データベースの記事検索内容の充実(データの追加作成)と校正作業を実施した。

3 司書のレファレンス技術の向上	
(1) 新入職員のための「レファレンス・マニュアル（基本編）」を作成中。 (2) 定期的に館内研修を実施している。 ・新入職員を対象にレファレンスミニ研修を行った。（5月・6月） ・職員が順次講師を務める「レファレンスミニ講座」を立ち上げ実施した。 （7月12日/7月19日/7月26日/10月11日/10月18日/10月25日）	
指標②	【年間レファレンス件数】 （基準値：平成28年度 11,473件） ＊平成30年度 7,830件（10月末） （参考）平成29年度 12,074件 平成29年度 7,755件（10月末）

【大学図書館等研究機関と連携し、専門的資料（情報）を提供します】

1 「福島県内大学図書館連絡協議会」での連携強化（相互貸借の促進）
(1) 福島県立医科大学で開催された、同連絡協議会の総会に職員を派遣した。 （7月13日）
2 「ふくふくネット」の促進
(1) 計画に基づいた連絡車（県立図書館・福島大学）の運行及び資料の貸出・返却を行っている。
3 レフェラルサービスの強化
(1) 広報委員会で、県内の専門機関紹介ページ（リンク集）の作成を検討している。

【県内文化施設等との連携による情報の発信に努めます】

1 文化施設等との連携による企画展示
(1) 福島県文化財センター白河館との連携で、「被災地の文化財～双葉高校史学部の歩み～」を実施した。＊双葉町教育委員会協力（5月3日～6月6日） (2) 会津地方振興局との連携で、写真パネル展「只見線秀景」を実施した。 （6月8日～7月4日） (3) 磐梯山噴火記念館との連携で、「世界の岩なだれ展～セントヘレズと磐梯山を中心に～」を実施した。（9月7日～10月3日）
2 文化施設等との連携講座
(1) 「ふくしまを知る連続講座」を開催した。 ・（第1回）磐梯山噴火記念館との連携で、「磐梯山の噴火から130年～世界の岩なだれの中の磐梯山～」を実施した。参加：60名（4月22日） ・（第2回）双葉町教育委員会との連携で、「被災地の文化財～双葉高校史学部の軌跡～」を実施した。＊福島県文化財センター白河館協力 参加：23名（5月13日） ・（第3回）白河歴史民俗資料館との連携で、「県南の戊辰戦争～白河を中心に～」を実施した。参加：61名（10月6日） ・（第4回）福島市史編纂室との連携で、「福島の戊辰戦争～大藩の狭間で揺れ動く小藩の悲哀～」を実施した。参加：57名（10月21日） (2) 暮らしに役立つ講座を実施した。 ・福島県立医科大学との連携事業「衛生学・予防医学講座」実施した。参加：67人。 （7月7日） ・福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座（第2回）の開催に協力した。 参加：211名。（7月8日） ・福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座（第3回）の開催に協力した。 参加：164名。（8月4日） ・福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座（第4回）の開催に協力した。 参加：166名。（9月9日） (3) 戊辰戦争期木版刊行物研究会との連携（後援）により、公開講演会とワークショップを実施した。参加：58名（9月9日） (4) 原國雄とその仲間たちとの共催により、「春の朗読会」を実施した。 参加：180名。（5月20日）

3 関連資料の紹介

- (1) ふくしまを知る連続講座（第1回）「磐梯山の噴火から130年～世界の岩なだれの中
の磐梯山～」に合わせ、関連資料を展示した。（4月22日）
- (2) 写真パネル展「只見線秀景」に併せ関連資料を展示した。
（6月8日～7月5日）
- (3) 福島県立美術館の企画展「イラストレーター安西水丸」に合わせ、関連資料を
展示した。（7月7日～9月2日）
- (4) 福島県立医科大学・福島学院大学共同公開講座（第2回～4回）に合わせ、関連
資料を展示した。（7月8日/8月4日/9月9日）
- (5) 鉄道風景画家松本忠絵画展「只見線情景」に併せ関連資料を展示している。
（8月3日～平成31年4月3日※予定）
- (6) 「世界の岩なだれ展」に合わせた時事展示を行い、関連資料を展示した。
（9月7日～10月3日）
- (7) 「Into the book」（県立美術館協力事業）に合わせ、ものづくりに関する資料
を展示した。（9月17日）
- (8) ふくしまを知る連続講座（第3回）（第4回）及び、当館の企画展「幕末の風
～戊辰150年～」に合わせ、時事展示「幕末の風～戊辰150年～」を実施している。
（10月5日～12月5日）
- (9) ロビー展示「JICA 青年海外協力隊 シニア海外ボランティア活動写真パネル
展示」に合わせ、関連資料を展示した。（10月5日～10月31日）

イ 東日本大震災等の記録を残します。

【「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を継続し、
情報ニーズに応えた新たな活用を図ります】

1 資料収集の継続
(1) 福島県に関連する資料を重点的に収集するため、市町村と連携した地域の資料 情報の収集に努めている。
(2) 資料群の充実を努めるため、震災・原発事故を扱った逐次刊行物を収集した。
2 「防災教育」「放射線教育」を支援するためのセット編成・活用
(1) 「学校図書館活動支援セット貸出」等の再編成に合わせて、「防災」「減災」 「震災」セットの再編成について検討している。
(2) 『本はともだち 福島を知る 福島を伝える』の制作に当たり、「災害に 備える」資料の選定を行った。

ウ あらゆる人々が利用できる環境を整備します。

【高齢者や障がい者等の要配慮者に対するサービスの充実を図ります】

1 障がい者サービス体制の整備
(1) 各班に、障がい者サービス担当者を配置した。（4月）
(2) サピエ図書館への登録（入会）を完了した。（5月15日）
(3) リーディンググループ及びリーディングトラッカーを新規に設置した。（8月）
(4) 職員研修として「認知症サポーター養成講座」を受講した。受講：24名 （9月6日）
2 適切な資料の充実（大活字本、さわる絵本、デジタル情報等）
(1) 大活字本を購入し、大活字資料リストの改訂を行った。（6月）
(2) LLブックなど、ユニバーサルデザインの児童資料の購入に努めている。

エ 県内のどこからでも利用できる環境を整備します。

【どこからでも利用できるサービスを推進します】

1 非来館者サービスの継続と強化

- (1) 非来館サービスの評価と見直しを行うため、班長レベルによる会議を開催し、本プラン期間内のスケジュールについて確認した。(10月11日)

オ 快適な利用空間を提供します。

【施設環境・設備環境の改善を行います】

1 ユニバーサルデザインの検証

- (1) 障がい者サービス担当者会議で、今できることを検証し、カウンター周りにリーディングループ及びリーディングトラックを配置した。(8月) *再掲

2 書庫の狭隘化に対する検討

- (1) 喫緊の懸案事項であることについて、主務課との情報共有を図っている。

(2) 「子どもたちの今と未来のための図書館」であるために

ア 学校図書館への支援と連携強化に努めます。

【児童図書研究室としての役割を踏まえ、選書情報を提供するため、幅広い資料の収集を目指します】

1 適切な選書情報の提供

- (1) 学校図書館でも活用できる情報の提供を行うため、『児童図書研究室ニュース』を発行している。(4月/7月/7月号外/10月)
(2) 小中学校の学習指導要領に合わせた参考資料を充実させるため、参考資料の点検及び出版状況を確認している。

【学校司書や学校図書館ボランティアに対する研修会を実施します】

1 研修機会の提供(実施例:「初任者研修会」、「実務研修会」等)

- (1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会において学校図書館部会を実施した。学校関係者の参加:37人(全体で99人)(5月25日)
(2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。(全体では6人)(今年度は学校関係者の参加はなし)(6月21日~22日)

2 県教育委員会等が行う学校図書館関係者向け研修等への職員派遣

*学校関係者も参加する、以下の研修事業に職員を派遣した。

- (1) 白河市立図書館「図書館講座」(6月6日)
(2) 福島市吾妻学習センター「吾妻学習センター市民公開講座」(6月13日)
(3) 県北教育事務所「子ども読書セミナー」(6月14日)
(4) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月19日)
(5) 聖光学院高等学校「絵本の読み聞かせ」授業(7月19日)
(6) いわき教育事務所「読書活動支援者育生事業」(7月20日)
(7) 義務教育課「サポートティーチャー派遣事業」(7月27日)
(8) 県中教育事務所「読書活動支援者育生事業」(9月21日)
(9) 図書館基礎講座 in 青森(10月4日)

【学校図書館への資料を支援します】

1 「学校図書館図書活動支援セット」等の利用の推進	
<p>(1) 授業で活用するための「学校図書館図書活動支援セット」の利用促進を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校（鮫川/余目/川内）、中学校2校（西会津/鮫川）、高校6校（福島西/福島北/本宮/福島商業/相馬/聖光学院）に貸出した。 ・金山町教育委員会に、学校図書館運営セット（53+CD3）、比べ読みセット（かさじぞう19冊）（英語と日本語で読める絵本80冊+CD8）を貸出した。 <p>(2) 学校図書館への資料支援事業の再編を検討している。</p> <p>(3) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています！』を作成し、県内の図書館・公民館・学校（教育委員会）に対して周知した。（4月10日）</p>	
2 図書館未設置自治体の学校支援の推進	
<p>(1) 図書館未設置自治体（学校図書館）への移動図書館車の運行を継続実施している。平成30年度は25自治体に対し実施しているが、学校に対しては26校に巡回している。</p> <p>(2) 移動図書館巡回時に、各町村教育委員会担当者および各教育事務所担当者と連絡、情報交換を行うことで、各教育委員会及び各教育事務所との連携強化に努めている。</p>	
指標 ③	<p>【学校図書館活動支援セット貸出実績】 （基準値：平成28年度 18件/54セット）</p> <p>*平成30年度 14件/28セット（10月末） （参考）平成29年度 15件/48セット 平成29年度 14件/34セット（10月末）</p>

【避難自治体の学校再開に合わせ、学校図書館を支援します。】

1 自治体が行う学校図書館支援に対する運営相談の実施	
<p>(1) 当該自治体への移動図書館車の運行を継続実施し、資料の貸出しに加え学校図書館活動についての運営相談を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯館村、川内村、檜葉町、葛尾村に継続巡回を実施した。また、平成30年度からは、新たに富岡町と浪江町にも巡回を開始した。 <p>(2) 学校図書館の活動を含めた運営相談のため、要請及び状況に応じて職員を派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に巡回し運営相談を実施した。（4月12日/6月27日/9月26日） ・平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館（教育委員会）に巡回し運営相談を実施した。（8月29日） <p>(3) 館長による面談を実施し、学校図書館の活動についても意見の交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡町教育委員会教育長との面談を実施した。（10月30日） ・浪江町教育委員会教育長との面談を実施した。（10月30日） 	
2 資料支援事業の最大限の活用	
<p>(1) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています！』を作成し、県内の図書館・公民館・学校（教育委員会）に対して周知した。（4月10日）*再掲</p>	

イ 子どもが本に親しむ機会を提供します。

【子どもにとって利用しやすい環境を整備します】

1 読書や学習のサポート	
<p>(1) スマイルプロジェクト（本はともだち）の実施に合わせブックリスト『本はともだち 福島を知る 福島を伝える』を作成中。</p> <p>(2) 子ども向け「本の調べ方案内」の第1号を作成中。</p> <p>(3) ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ（子ども向け）をリニューアルし、より利用しやすくするため、コンテンツの確認作業に着手した。（9月） ・ホームページ（Twitterを含む）を活用し、毎月、時節に合わせた本や展示コーナーの紹介を実施している。（53件）（前年同月17件） 	
2 外部の協力による学習支援	
<p>(1) 県立美術館と連携し「ちいさなおはなしかいスペシャル」を開催した。 参加：計72名（7月12日：53名/8月9日：19名）</p> <p>(2) 県立美術館と連携し「アートなおはなしかい」を開催した。 参加：23名（7月21日）</p> <p>(3) 磐梯山噴火記念館と連携し子ども向け講座「実験でせまる！ふくしまの火山～磐梯山・吾妻山～」を開催した。参加：32名（9月8日）</p>	
3 身近な図書館を目指す	
<p>(1) 図書館の見学を受け入れている。10件/334名（前年同月11件/355名）</p> <p>(2) 中学生の職場体験を受け入れている。7校/10名（前年同月5校/8名）</p>	
指標④	<p>【児童資料館外個人貸出冊数】 （基準値：平成28年度実績 56,597冊）</p> <p>*平成30年度 39,792冊（10月末） （参考）平成29年度 62,041冊 平成29年度 38,363冊（10月末）</p>

【子どもを取り巻く大人（保護者等）への情報提供の環境を整備します】

1 情報支援	
<p>(1) スマイルプロジェクト（本はともだち）の実施に合わせブックリスト『本はともだち 福島を知る 福島を伝える』を作成中。*再掲</p> <p>(2) 館内用案内図「子育て支援マップ」を改訂し、保護者向け「利用案内」「ママ・パパ・こどもマップ」を作成した。（4月）</p> <p>(3) 保護者や学校図書館の関係者たちが、子どもの本を選ぶ際の参考とするため、「おはなしかい」の実施記録を活用した資料の作成を検討している。</p> <p>(4) 資料検索をしやすくするため、洋書データを修正している。</p>	
2 研修の取り組み	
<p>(1) スマイルプロジェクト事業に合わせ、「ブックトーク」の研修会を計画している。</p> <p>(2) 要請により、職員の講師派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島市アクティブシニアセンターアオウゼ講座「読み聞かせたい！絵本のあれこれ」（4月18日） ・矢祭もったいない図書館「矢祭子ども司書講座」（5月26日） ・白河市立図書館「図書館講座」（6月6日） ・国見町教育委員会「国見町子ども司書講座」（6月9日） ・福島市吾妻学修センター「市民講座」（6月13日） ・県北教育事務所「子ども読書セミナー」（6月14日） ・西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」（6月19日） ・聖光学院高等学校「絵本の読み聞かせ」授業（7月19日） ・いわき教育事務所「読書活動支援者育成事業」（7月20日） ・義務教育課「サポートティーチャー派遣事業」（7月27日） ・田村市立図書館「めざせ！図書館司書」（8月5日） ・県中教育事務所「読書活動支援者育成事業」（9月21日） ・日本図書館協会「図書館基礎講座 in 青森」（10月3日） 	

(3) 「市町村（図書館・公民館等）を支える図書館」であるために

ア 市町村の図書館活動を支援します。

【資料の提供を行います】

1 市町村が必要とする資料の提供	
<p>(1) 「協力貸出」の促進に取り組んでいる。</p> <p>(2) 市町村図書館からの資料の「リクエストサービス」の広報を強化している。</p> <ul style="list-style-type: none">・会津・南会津地区公立図書館・公民館連絡会に参加し周知した。(10月22日) <p>(3) 資料展示の「出張展示」に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none">・小野町に対し、「小さな人たちのために-雑誌『赤い鳥』創刊100年-」展の展示資料を貸し出した。(10月16日)	
指標 ⑤	<p>【協力貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 4,955冊)</p> <p>*平成30年度 3,134冊 (10月末) (参考) 平成29年度 5,329冊 平成29年度 2,824冊 (10月末)</p>

【図書館活動への運営相談等を行います】

1 「協力車」事業の運行及び運用の見直し
<p>(1) 平成30年度は、新設および再開図書館への運営相談の強化を重点事項として協力車を運行している。</p> <ul style="list-style-type: none">・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(6月27日/9月26日) *再掲・平成31年度に図書館を設置する会津美里町（教育委員会）に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(5月30日)・平成30年度に図書館を設置した浅川町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(8月1日)・平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館（教育委員会）に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(8月29日) *再掲
2 新設・新築の図書館への運営相談の充実
<p>(1) 定期的な連絡機会を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none">・平成31年度に図書館を設置する会津美里町（教育委員会）に定期的な協力車の巡回を行い巡回し運営相談を実施した。(5月30日) *再掲・図書館を新設した浅川町に協力車による定期的な巡回を行い運営相談を実施した。(8月1日) *再掲 <p>(2) 副館長による面談を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none">・副館長が会津美里町教育委員会教育長との面談のため巡回した。(10月24日)
3 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
<p>(1) 第1回目の「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。(6月8日) (参考) 本宮市の要請に応じ、近隣図書館の子ども読書活動に関する先進図書館の調査を行った。(9月)</p>

【図書館未設置町村の読書活動を支援します】

1 読書活動に対する運営相談の実施
<p>(1) 「移動図書館車」（図書館未設置を巡回対象）の巡回時に合わせ、運営相談業務を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・平成30年度は25町村に対して実施している。そのうち、会津美里町（4月11日/5月18日/5月24日/9月26日/10月16日）と石川町（4月20日）は平成31年度図書館建設を予定しているため、運営相談業務に重みを置いている。 <p>(2) 移動図書館車巡回以外にも運営相談の機会を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none">・会津美里町来館により運営相談を実施した。(4月18日/7月26日/8月22日) <p>(3) 要請及び状況により、職員の派遣を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・葛尾村の図書室整備（運営相談）のため職員を派遣した。(7月11日/9月3日～6日)

2 図書活動推進のための講師派遣

- (1) 国見町教育委員会「国見町子ども司書講座」(6月9日)
- (2) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月19日)

イ 県内全体のネットワーク体制の強化を図ります。

【資料の物流体制を推進します】

1 県内図書館間の物流体制の整備

- (1) 「協力車」事業の推進に取り組んでいる。
 - ・協力貸出の搬送 349冊(昨年同月 332冊)
 - ・市町村間相互貸借資料の搬送 551冊(昨年同月 449冊)
 - ・遠隔地返却資料の回収 2,971冊(昨年同月 2,533冊)
 - ・学校図書館(協力貸出)の資料回収 2件/11冊(昨年同月 8件/87冊)
 - ・学校図書館活動支援セットの搬送 11セット/578冊(昨年同月 9セット/677冊)
 - ・受取館指定資料の搬送 38件/110冊(昨年同月 15件/60冊)
 - ・ふくふくネット(遠隔地返却資料搬送) 38件/110冊(昨年同月 15件/60冊)
- (2) 宅配を活用した「協力貸出」の推進に取り組んでいる。
 - ・件数10件/50冊(昨年同月数値 15件/91冊)
- (3) 「移動図書館車」事業を活用した物流体制を強化している。(公民館を主に)
 - ・西会津町巡回時の5月22日と7月22日の2回、それぞれ3セットを搬送した。
 - ・北塩原村巡回時の5月29日と8月30日の2回、それぞれ3セットを搬送した。
 - ・金山町巡回時の6月5日に、学校図書館支援セット、比べ読みの絵本セット(いっすんぼうし)、英語と日本語で読める絵本セットを搬送した。
- (4) 「図書館ポータル」内のILL機能の運用調整に取り組んでいる。
 - ・県公共図書館協会に小委員会を設置し、「図書館ポータル」に実装している「ILL機能」の試行実施について協議を行なった。(8月23日)

【資料の保存協力について検討します】

1 「デポジットライブラリー(共同保存図書館)」機能の実施に向けた県内関係機関との調整

- (1) 「福島県公共図書館協会実務担当者会議(第1回)」で、事業の可能性と課題について協議を行った。(6月8日)
- (2) 県内の実情を調査するため、県内図書館等が所蔵する新聞(昭和40年代以前を目安に)の所蔵調査を実施した。(6月7日)
- (3) 『現行購入雑誌保存年限及び保存指定館、現行受入新聞一覧』の継続作成を行っている。
 - ・各公共図書館に調査を実施した。(6月7日)
 - ・調査結果について県内各図書館へ周知を行った。(10月17日)

【協力レファレンスを積極的に受け付けます】

1 「協力レファレンス」についての周知の強化

- (1) 広報委員会で、各種データデータベースの活用を含めた周知の強化について検討している。

【市町村立図書館相互の連携・協力体制の基盤を整備します】

1 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催

- (1) 第1回目の「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。(6月8日)
*再掲

2 福島県公共図書館協会の「地区別連絡会」への参加

- (1) 会津・南会津地区公立図書館・公民館連絡会に参加した。(10月22日) *再掲

3 「図書館ポータル」の活用
(1) 県公共図書館協会に小委員会を設置し、「図書館ポータル」に実装している「ILL機能」の試行実施について協議を行なった。(8月23日) *再掲

ウ 県内図書館関係職員の研修をサポートします。

【研修機会を提供します】

1 研修機会(場所を含めた)の提供(実施例:「初任者研修会」「専門研修会」等)
(1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会を実施した。参加:99人。(5月25日)
(2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。参加:6人。(6月21日~22日)
2 要請による職員派遣
(1) 白河市立図書館「図書館講座」(6月6日) *再掲
(2) 県北教育事務所「子ども読書セミナー」(6月11日) *再掲
(3) 西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月19日) *再掲
(4) いわき教育事務所「読書活動支援者育生事業」(7月20日) *再掲
(5) 県中教育事務所「読書活動支援者育生事業」(9月21日) *再掲

エ 情報拠点として、図書館運営に必要な情報を収集し提供します。

【福島県立図書館情報ネットワーク事業」を維持し強化を図ります】

1 図書館システム環境の維持
(1) システムの環境維持を図るため、現契約ベンダーとの「システム定例会」を実施した。(7月4日)
2 「図書館ポータル」の活用
(1) 県公共図書館協会に小委員会を設置し、「図書館ポータル」に実装している「ILL機能」の試行実施について協議を行なった。(8月23日) *再掲
3 新システムへの更新作業に合わせたWebサービスの評価と見直し
(1) 「次期システム検討委員会」を設置し、検討に着手した。(8月30日)

【図書館システム及びLANシステムの更新作業を遂行します】

1 新システムへの円滑な移行のため、「次期システム検討委員会」を設置し、検討に着手した。(8月30日) *再掲

オ 避難自治体の図書館活動を支援します。

【資料の提供と運営相談を行います】

1 資料支援事業の実施
(1) 「移動図書館車」事業を継続実施している。 ・7町村に対し継続実施中。 (浪江町/飯館村/富岡町/楢葉町/川内村/葛尾村/大熊町)
(2) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校(教育委員会)に対して周知した。(4月10日) *再掲

2 運営相談の実施
<p>(1) 運営相談のため、要請及び状況に応じて職員を派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に再オープンした富岡町図書館に巡回し、課題について運営相談を実施した。(4月12日/6月27日/9月26日) *再掲 平成31年度に再オープンを目指す浪江町図書館(教育委員会)に巡回し、再開に向けた運営相談を実施した。(8月29日) *再掲 葛尾村の図書室整備(運営相談)のため職員を派遣した。(7月11日/9月3日~6日) <p>(2) 館長による面談を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 富岡町教育委員会教育長との面談を実施した。(10月30日) *再掲 浪江町教育委員会教育長との面談を実施した。(10月30日) *再掲
3 定期的な情報収集
(1) 双葉郡4町について、図書館活動の状況を調査している。(8月)

【他機関との連絡窓口として情報の収集・提供に努めます】

1 東日本大震災支援団体との連携
(1) JLA(東日本大震災対策委員会)が行う情報交換会に職員を派遣した。(10月24日)

(4) 「ふくしまを知ることができる図書館」であるために

ア ふくしまの文化を伝えていくため、地域資料を収集・保存し、提供します。

【ふくしまに関する情報を広く収集・保存し、提供します】

1 ふくしまに関する情報の収集
<p>(1) 地域資料収集のための広報の強化について、広報委員会で検討している。</p> <p>(2) 福島県ゆかりの作家(県外在住者)の著作物購入について検討している。</p>
2 ふくしまに関する情報の保存
(1) デジタルライブラリーによる資料情報の提供を継続実施している。
3 ふくしまに関する情報の提供
<p>(1) 『福島県郷土資料情報』の発行準備を進めている。</p> <p>(2) 『福島県図書館報あづま』の発行準備を進めている。</p>

【行政資料等の非販売資料を収集します】

1 地域行政資料収集のための広報の強化(実施例:県庁へのメール寄贈依頼、依頼の効果検証、県庁各部署への定期訪問の実施、市町村役場への行政資料寄贈依頼等)
<p>(1) 県庁各部署への定期訪問の試行について、県庁の政策監会議に資料を提供し、周知を図った。(5月)</p> <p>(2) 県庁各部署へのメールによる寄贈依頼を実施した。(5月12日)</p> <p>(3) 県庁への定期訪問の試行を実施した(10月終了時点計8回)。</p>
2 市町村資料の収集ルートの確保(実施例:図書館・公民館を通した資料収集等)
(1) 市町村立図書館を窓口とした資料収集について検討している。

イ 資料のデジタル化による保存と提供を推進します。

【地域資料・貴重資料のデジタル化事業を計画的に進めます】

1 デジタル化事業の推進
<p>(1) 「郷土誌(日立木村・八沢村・新地村)」のデジタル化の準備を進めている。</p> <p>(2) 地域資料・貴重資料のデジタル化の対象及びその優先順位について検討している。</p>

【「デジタルライブラリー」(HP)を利用しやすくします】

- | |
|--|
| 1 「図書館システム」の更新に合わせ、デジタルライブラリーをリニューアルするため、「次期システム検討委員会」を設置し、検討に着手した。(8月30日) *再掲 |
|--|

ウ Web環境を活用した情報の発信と共有化を推進します。

【ふくしまの情報を発信していきます】

1 インターネットによる情報発信

- | |
|--|
| (1) 「ふくしま」を知ることができ、役に立つリンク集の作成を検討している。
(2) 「県内市町村史」の目次情報ページの更新に取り組んでいる。
・ 県北地方のデータ入力を実施している。 |
|--|

2 Web環境を活用した新たな情報提供の体制の検討

- | |
|---|
| (1) 図書館情報ネットワークシステムの更新にあわせ、新たな情報提供を出来る業務システムの検討を始めた。
(8月30日:次期システム検討委員会の設置) *再掲
(2) ホームページに「郷土の偉人朝河貫一没後70年」を開設。『朝河貫一資料目録(改訂版)』を準備中。 |
|---|

【SNSを活用した情報発信をしていきます】

1 SNSを活用した情報発信

- | |
|---|
| (1) Twitterによる広報活動を試行により実施している。(5月30日より開始)
(71件) |
|---|